「2021川崎国際多摩川マラソン」ボランティア向け新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

本ガイドラインは、参加者や大会に携わる関係者、市民の安全を確保するために、日本陸上競技連盟のロードレース開催についてのガイダンス等をもとに、作成したものです（新型コロナウイルスの感染拡大の状況により変更する可能性があります）。

記載事項をよくお読みいただき、内容を承諾したうえでボランティアに協力くださいますようお願い申し上げます。

１ ボランティア参加にあたっての感染症対策誓約事項

（１）お申込みになられた場合には、以下の事項を了承し、遵守することを誓約いただいたものとします。

（２）以下の場合は、ボランティア参加をお断りさせていただきます。

①大会当日に発熱症状が認められる（体温37.5℃以上）場合や体調不良の場合

②大会前2週間以内からの体調管理チェックシートに未記入項目がある場合

③大会前3週間以内に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応がある場合

④大会前2週間以内に、新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合。

⑤大会前2週間以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

⑥大会前2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

（３）大会終了後2週間は健康チェックシートに記入を行い、新型コロナウイルス感染症への感染が発覚した場合は、主催者に報告し、自治体や保健所等の調査に協力してください。

（４）大会後に感染症を発症した参加者が発見された場合には、その感染経路の特定に向けた調査へ協力してください。

（５）65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、重症化するリスクが高い旨を認識したうえでご参加ください。

２ 感染症対策のための厳守事項

（１）大会前2週間以内から体調管理チェックシートに健康情報の記入をしていただきます。

（２）大会当日、集合場所での検温、手指消毒の実施及び健康チェックシートの提示をしていただきます。

（３）発熱が確認された場合（体温37.5℃以上）は、新型コロナウイルス感染の有無にかかわらず、会場への入場や大会へのボランティア活動参加をお断りさせていただきます。

（３）会場内では、必ずマスクを着用する等、感染防止対策にご協力いただきます。大会が求める感染防止対策に従っていただけない場合は、ボランティア参加をお断りする場合があります。

（４）会場内ではボランティア同士でも密を避け、他の方と十分な距離をとって活動いただくようお願いします。また、設置してあるアルコール消毒液などをこまめに利用し、咳などをする際は手で口元を覆うなど感染予防に努めてください。

（５）休憩中もマスクを着用、会話はなるべく控え、飲食をする場合も短時間で「黙食」いただくことにご協力ください。また、ゴミやマスク等は各自で持ち帰っていただくようお願いします。

３ その他

（１）本大会のボランティアを含めた運営スタッフは、マスク（ご持参いただきます）の着用を必須とするとともに、必要に応じてフェイスシールド、ビニール手袋を着用・使用していただきます。

（２）本大会は、新型コロナウイルス接触確認アプリ（ＣＯＣＯＡ）及び神奈川県LINEコロナお知らせシステムの利用を推奨しています。ご自身のスマートフォンにダウンロードいただきます。（推奨）

（３）ランナーへの声援はお控えください。また、ハイタッチなど直接ランナーと接触することはお控えいただきます。

（４）大会当日における一般の方の沿道応援は、状況に応じて自粛を促させていただく場合があります。

（５）今後の新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種状況によりますが、大会当日はワクチンを接種した上ご参加を強く推奨することがあります。